

めざす子ども像

子育て4訓：手を離せ、目を離すな(少年期)
子どもに任せる時、寄り添わないといけない時の見極め

【教育目標】

命を大切に、自ら学び、豊かな心をはぐくみ、たくましく生きる子どもの育成をめざす。



小さな失敗をしながら
自分で自分をアップデートできる子

学年が上がるにつれ、「学びの積み上げを生かして」様々なことを、自分で考え、自分で行動することができるようになる。
自分の力で挑戦しようとする子どもを、親や先生は励ましの声をかけながら、見守り支援する。

親・先生

子ども

1年

6年

☆「めざす子ども像」に向かうために必要な学力とは？

学力⇒ 社会の中で、自分で自分をコントロールできる力

学校教育活動 (人格の完成を目指す)

教科教育による認識の統合を中心にして、まわりと関わりながら人格形成していきます。

長い歴史の中で
人類が作り出し、練り上げてきた
最高の文化遺産を
継続・発展させていくために

教育課程
学習内容を教科ごとに分け、
子どもの発達段階に応じ
順序よく教え、考えさせていく。

学習指導要領
・知識・技能(継続)
・学びに向かう姿勢・人間性等(継続・発展)
・思考力・判断力・表現力(継続・発展)

↓

こころ豊かで自立するひとづくり
「未来への道を切り拓く力」の育成 (兵庫県教育委員会)

自分で

P
D
C
A

(計画・実行・評価・改善)

を
回せる子

【教科学習を通して】 ⇒ 認知能力
⇒ 言葉・数概念・自然のきまり・社会のしくみ・音楽・図工・体力 etc
⇒ 学習したことをリンクさせる ⇒ 認知力 UP!

【仲間との関わりを通して】 ⇒ 非認知能力
⇒ 自己有用感・自己肯定感
⇒ 自立心・自制心・協調性や共感性
⇒ 意欲や自信

《結び合うそのだ》 → R5 響き合うそのだ
○兄弟学級を土台にして、感謝や憧れの気持ちを育てる。
○クラスにおける友だちとの関わり
○幼保小中のつながりを密にして
○地域の方との関わりの中で

○日々の学習の中で
・各教科でわかったこと等を、次場面で考えたり、他のものとリンクさせたりする。
・わからなかったこと、できなかったことを自分たちで粘り強く考える。与えられた課題(宿題等)にきちんと取り組む。

2つのカンヨウ

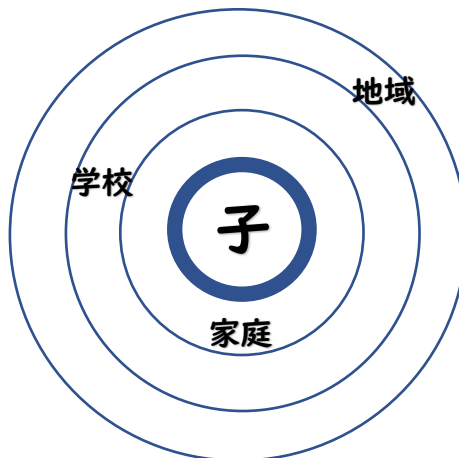
寛容 涵養

育む

○仲間と交流する中で(喜怒哀楽がある)
・「ああでもない、こうでもない」の時間が大切。
・達成感を得る。反省の心を持つ。
・他者理解ができる(ちがいを認め、思いやりの心を持つ)。
・仲間と協力して学校生活を送る。

子どもを真ん中にして
私たち教職員と保護者のみなさんが
スクラムを組んで
子どもたちを育てていきたい。

⇒ **みんなの学校**



子どものすこやかな成長に欠かせない土台

規則正しい生活

- ・早寝早起きの習慣を!
- ・偏りのない食事(朝ごはんは必ず摂るなど)
- ・仕事(係)等を通して、見通しの力を!

本物を感じる(実体験)

- ・五感を使って、まわりを知っていくこと